

# 韓国に現地法人設立

## 今月から工場稼働へ

松江の小松電機産業

高速、高気密シートシャッターの生産、販売を手掛けている小松電機産業株式会社（本社・松江市乃木福富町、小松昭夫社長）が三日、鳥取、境港で行われた韓国からのシートシャッター「門番」シリーズの部材荷受式にともない、韓国での現地法人設立と工場の稼働について発表した。

同社では、かねてより「ガレージファクトリー構想」を掲げ、世界多拠点生産の計画を進めており、昨年開設したソウル支社を、このほど設立した同社100%出資の子会社「KOMATSU KOREA CO., LTD（小松コリア）」の本社とし、始興市に新設した工場では、同社初の海外生産拠点として今月中には同社製のシートシャッターの製造を開始するとしている。

昨年度、シートシャッターでは国内シェアの

約三割を獲得している同社は、新工場での今年度生産目標を五百台とし、今後施工、コンサルティング、運用管理までの幅広いサービスを武器に、韓国国内の新規顧客の拡大を目指すとともに、韓国からの輸出も視野に入れている。

同社では、かねてより「ガレージファクトリー構想」を掲げ、世界多拠点生産の計画を進めており、昨年開設したソウル支社を、このほど設立した同社100%出資の子会社「KOMATSU KOREA CO., LTD（小松コリア）」の本社とし、始興市に新設した工場では、同社初の海外生産拠点として今月中には同社製のシートシャッターの製造を開始するとしている。



新設された工場の入り口＝韓国、始興市